

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説
(平成 26 年 4 月 4 日)

【二十五】子曰く、君子は事え易くして、説ばしめ難し。之を説ばしむるに道を以てせざれば、説ばざるなり。其の人を使うに及びてや、之を器にす。小人は事え難くして、説ばしめし易し。之を説ばしめ易し。之を説ばしむるに道を以てせずと雖も、説ぶなり。其の人を使うに及びてや、備わらんことを求む。

孔子が言うには、君子は仕えやすいが、心から喜ばすのは大変なことである。君子を喜ばすには、正しい道で喜ばさないと本当に心からは喜ばない。君子が人を使う場合は、その人の能力にあわせて仕事を出すから、きちんとできれば君子は喜ぶ。小人物は機嫌がころころと変わりますが、しかし喜ばすことは簡単である。何故なら、不正な手段であろうが賄賂であろうが、どういうやり方で行っても喜ぶ。お金が欲しい人ならば、お金をあげれば簡単に喜ぶものである。小人物が人を使う場合は、要求するもの全てこなせなければ、いけないと要求するから仕えにくい。

正しい道であろうが不正な道であろうが、とりあえず言われたことをやっている人物を小人物であると考えれば良いでしょう。

今の時代は、全うな道でやらない限り喜ばないという社長はどうか。それから法律ストレスではどうか。例えば、刑務所の塀の上において、どっちに転がり落ちても構わないという社長の下で働く場合はどうだという風に考えれば良いでしょう。自分が勤めている会社の社長の資質をこれによって判断すれば良いでしょう。